
食肉科研/行政情報等発信サービス

No.240 2020/8/7

1 令和元年度食料自給率・食料自給力指標について

8月5日、農林水産省大臣官房政策課食料安全保障室は標記食料自給率等を公表した。その主な内容は次のとおり。

食料自給率とは、国内の食料供給に対する食料の国内生産の割合を示す指標です。我が国の食料の国内生産及び消費の動向を把握するため、毎年公表しています。

カロリーベースの食料自給率については、サンマ・サバ等の魚介類が不漁となり、米消費が減少した一方で、小麦の単収が増加したこと等により、対前年度から1ポイント上昇の38%となりました。

なお、飼料自給率については、前年度並みの25%、カロリーベースの食料国産率（飼料自給率を反映しない）は対前年度から1ポイント上昇の47%となりました。

生産額ベースの食料自給率については、豚肉等の国産単価が上昇した一方、野菜の国産単価が増収により下落し、サンマ・サバ等の魚介類が不漁となった等により、前年度並みの66%となりました。（生産額ベースの食料国産率（飼料自給率を反映しない）については、前年度並みの69%）

食料自給率について主なものをみると次のとおり（%）

米97、豆類7、野菜79、果実38、牛肉35（9）、豚肉49（6）、鶏肉64（8）、鶏卵96（12）、牛乳・乳製品59（25）、魚介類52。

注：畜産物の（ ）内数値は、飼料自給率を考慮した値である。

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/200805.html>

食料需給表

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/attach/pdf/200805-1.pdf>